

東カリブ諸国機構（OECS）6カ国月間情勢報告
（アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国、グレナダ、セントクリストファー・ネイビス、
セントルシア、セントビンセント及びグレナディーン諸島）
（2019年3月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- 経営危機に陥っているカリブ地域航空であるLIAT航空の存亡に関心が持たれる中、グレナダ政府のみが資金援助の意図を発表した。
- EUが非協力的な司法組織を持つ国のブラックリストを改定し、新たにドミニカ国が加わった。カリブ諸国はこのリストに反発している。
- トランプ大統領が一部カリブ諸国首脳と会談を行ったことは、他の首脳からはカリコムを代表するものではないとの反発も見られた。
- 日本は、アンティグア及びセントルシアに対し、それぞれの2億円の無償資金協力の署名を行った他、グレナダに草の根無償1件の署名を行った。

2. 内政

- 1日付セントビンセント紙は、米国ワシントンに本拠を置く世界司法プロジェクトの法の支配ランキング調査で、セントビンセントは中南米カリブ地域で7位に位置づけられたと報道。
- 11日付グレナダ紙は、同国野党議員はグレナダの対中債務は60億米ドルに上るとの報告があり、その情報開示を政府に求めたと報道。
- 13日、ハリス・セントキッツ首相は、人民労働党の党大会で党首に無投票で再任された。
- 21日、セントビンセント高裁は、15年10月の総選挙の2議席の結果について落選した野党議員が違法性を裁判に訴えていた案件で、両選挙区の結果に違法性はないとの判決を示した。
- 30日ドミニカ国紙は、スケリット首相は国連の気候変動と持続可能な成長のハイレベル会合の場で演説し、同国は2年前の壊滅的なハリケーンの被害から回復しつつあると強調したと報道。

3. 経済

- 6日、セントルシアで台湾技術ミッションはバナナ農家に38戸の包装作業場を引き渡した。同国がバナナの国際市場へのアクセス獲得を目的としたハリケーンからの復興支援プログラムの一環である。（12日政府発表）。

- 7日、グレナダ政府は、経営危機に陥っているカリブ地域航空会社のL I A T存続支援のために、資金援助を行う用意があると発表した。(同日付報道)
- 11日、アンティグアで水産関連機材調達を支援するための日本の2億円の無償資金協力に関するE/N署名式典が実施され、当館矢ヶ部参事官及びジョナス農業大臣が署名した。
- 12日セントキッツ紙は、EUはセントキッツの再生可能エネルギー源からのエネルギー自給向上支援のために500万ユーロのセクター財政支援に署名した。
- 13日、セントルシアで水産関連機材調達を支援するための日本の2億円の無償資金協力に関するE/N署名式典が実施され、当館矢ヶ部参事官及びシャスネ首相が署名した。
- 14日、カリブ開発銀行は、各国経済の18年レビューと見通しを発表し、東カリブ6カ国の19年の経済成長率予測は、グレナダ4.5%、アンティグア3.0%、セントキッツ3.0%、セントルシア3.0%、ドミニカ国2.0%、セントビンセント2.0%となった。
- 16日付アンティグア紙は、中国の支援による農業支援技術協力が開始され、ジョナス農業大臣はこの訓練プロジェクトは、中国の隆平高科社との協力で行われ、同国農業に変革をもたらすと期待されると述べたと報道。
- 18日、グレナダ政府は、市民権のための投資プログラム(CBI)の不動産投資による最低投資額を35万米ドルから22万米ドルに引き下げ、これは1件44万米ドル以上の案件の共同投資に限り適用される。(20日付報道)

4. 外交

- 8日、ミッチェル・グレナダ首相はチャン米務省西半球局筆頭次官補代理の表敬訪問を受け、米国とカリブ諸国のより大きな関与が必要と述べた。(11日同政府発表)
- 12日、EUは、非協力的な司法組織を持つ国のブラックリストを改定し、15カ国を同リストに掲載した。東カリブ諸国では、ドミニカ国が加わり、グレナダ及びセントビンセントは除外された。また、監視が必要な国のリストには、アンティグア、セントキッツ、セントルシアが掲載されている。このリストに対してはカリブ諸国側から一方的なものとの批判がある。
- 17～23日、カリブ海諸国歴訪中のチャールズ英皇太子及カミラ夫人は、東カリブ諸国の中でセントルシア(17日)、セントビンセント(20日)、セントキッツ(21日)及びグレナダ(23日)を親善訪問した。
- 18日、平山大使は、セントキッツを訪問し、シートン総督に信任状捧呈を行い、19日にはハリス首相、ブラントリー外務大臣表敬訪問等を行った。

- 19日、グレナダの揚水場建設に関する草の根無償67,223米ドルが平山大使及びグレナダ上下水道局部長により署名された。
- 20日、ドミニカ国と中国の外交関係樹立15周年に際し、スケリット首相は、李克強首相に祝辞書簡を送り、駐ドミニカ国中国大使も祝辞を発出した。
- 22日、トランプ大統領は、一部のカリブ諸国首脳とフロリダで会談し、ベネズエラ問題他を取り上げた。この会談にはシャスネ・セントルシア首相が出席したが、ゴンザルベス・セントビンセント首相は、この会談はカリコムを代表するものではないと批判した。(26日付報道)
- 23～24日、東京で開催された第5回国際女性会議 WAW!/W20 にバロン・ドミニカ国外務・カリコム担当大臣が出席し、阿部外務副大臣との会談を行った。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。